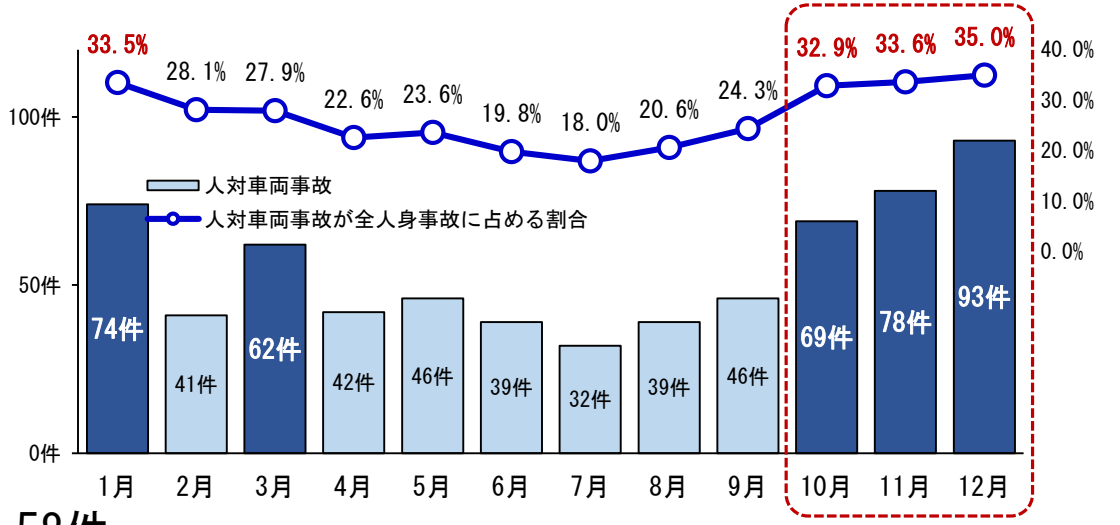
夕暮れ時から夜間に多発する歩行者との事故

～ 過去５年間（H30～R４）の死亡・重傷事故データから ～

過去５年間の人対車両事故のうち、死亡・重傷事故を月別に見ると、10月以降は増加傾向であり、10～12月は全死亡・重傷事故の３割超を人対車両事故が占めています。

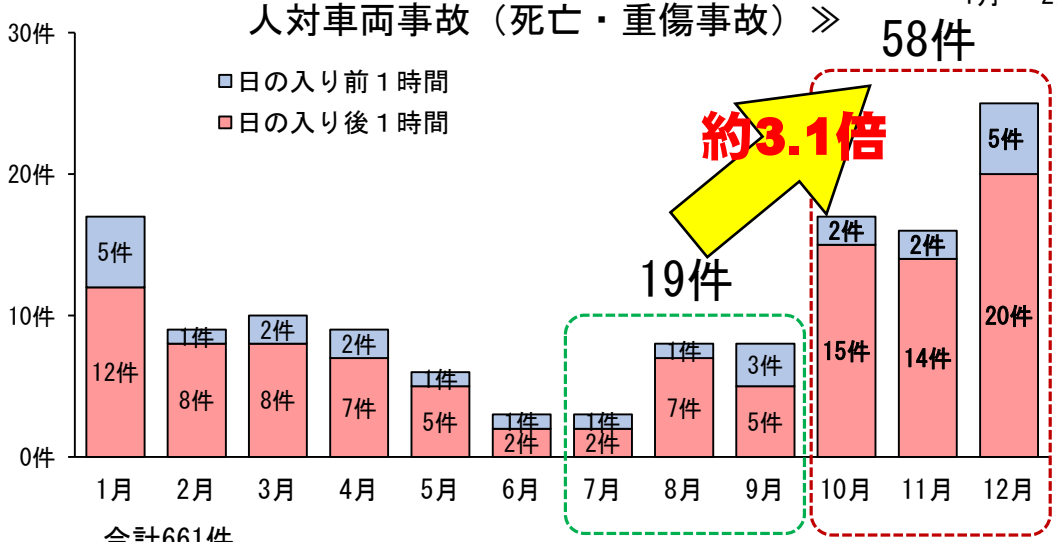
特に、薄暮時（日の入り時間の前後１時間）における人対車両事故は、10月から12月は７～９月と比較して約3.1倍発生しており、中でも日の入り後１時間に多く発生しています。

≪　人対車両事故の月別発生状況（死亡・重傷事故）　≫



合計661件

≪ 月別・薄暮時の人対車両事故（死亡・重傷事故）≫



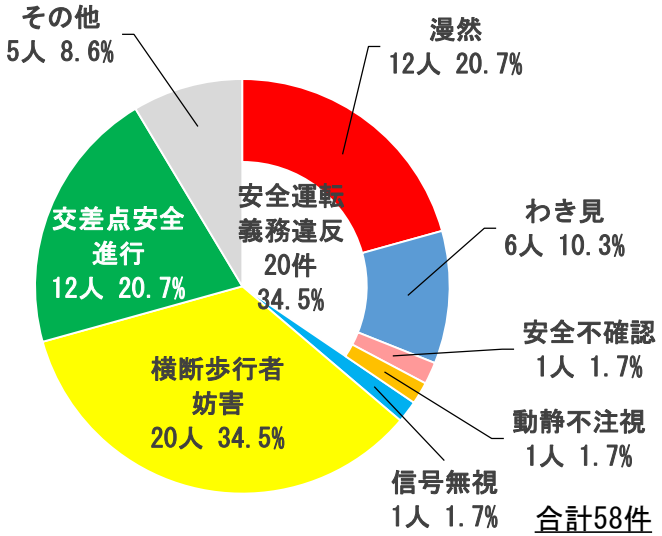
合計661件

≪ 死亡・重傷事故 ≫

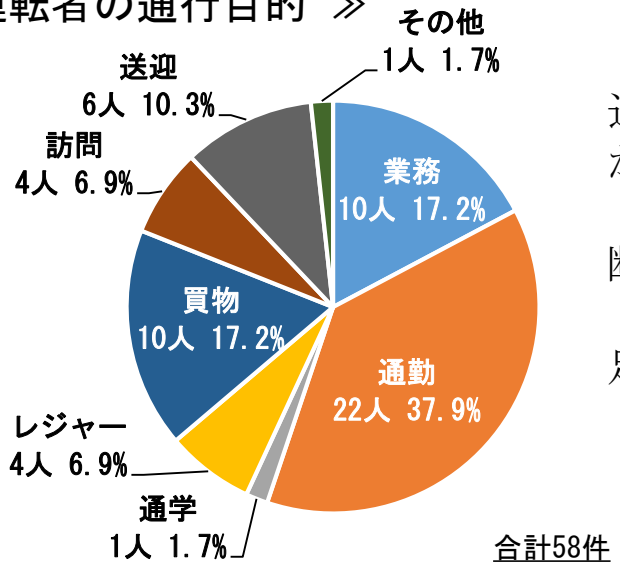
人対車両事故	７～９月 117件	2.1倍	10～12月 240件
うち薄暮時	７～９月 19件	3.1倍	10～12月 58件
うち日の入り後１時間	７～９月 14件	3.5倍	10～12月 49件

人対車両事故（死亡・重傷）
～ 10月～12月・薄暮時間帯（日の入り前後１時間）～

≪ 運転者の違反 ≫



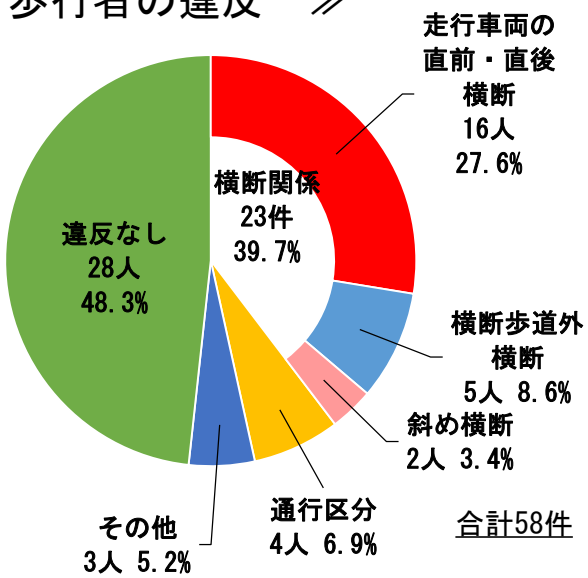
≪ 車両運転者の通行目的 ≫



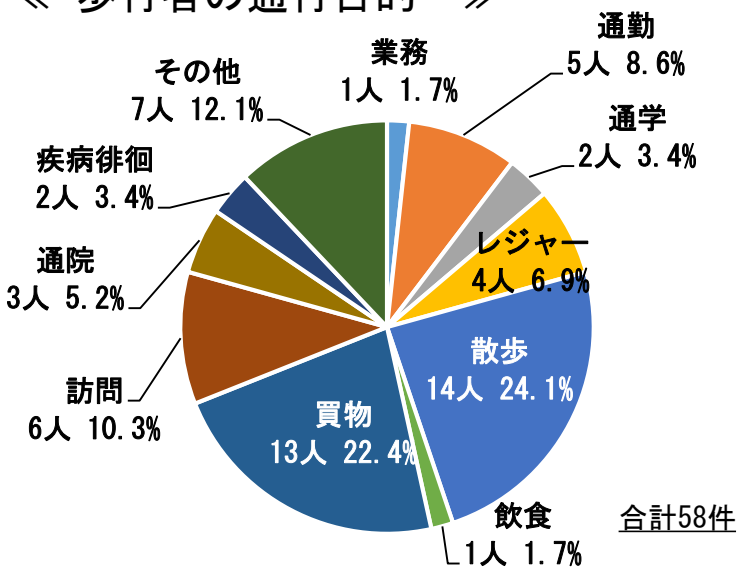
人対車両事故の車両運転者は、退社や業務（帰社等）時の事故が多い。

また、横断歩道における「横断歩行者妨害」や「漫然運転」「交差点での歩行者への注意不足」が原因での事故が多い。

≪ 歩行者の違反 ≫



≪ 歩行者の通行目的 ≫

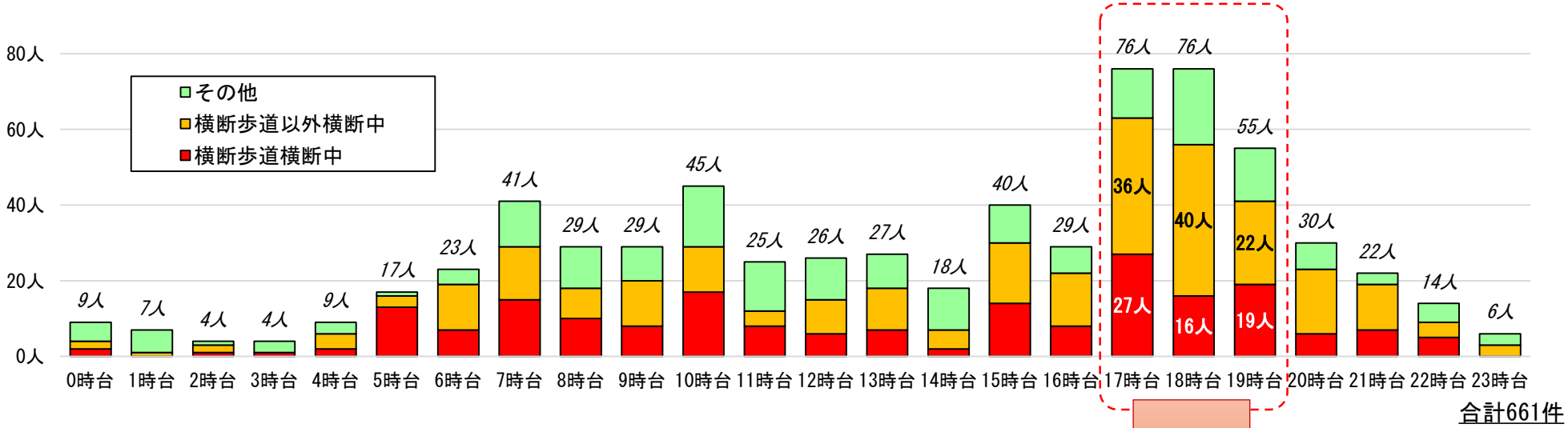


人対車両事故の歩行者は、買物や散歩時の事故が多い。

また、歩行者の５割超に何らかの事故原因があり、特に道路横断時の「走行車両の直前直後横断」が原因での事故が多い。

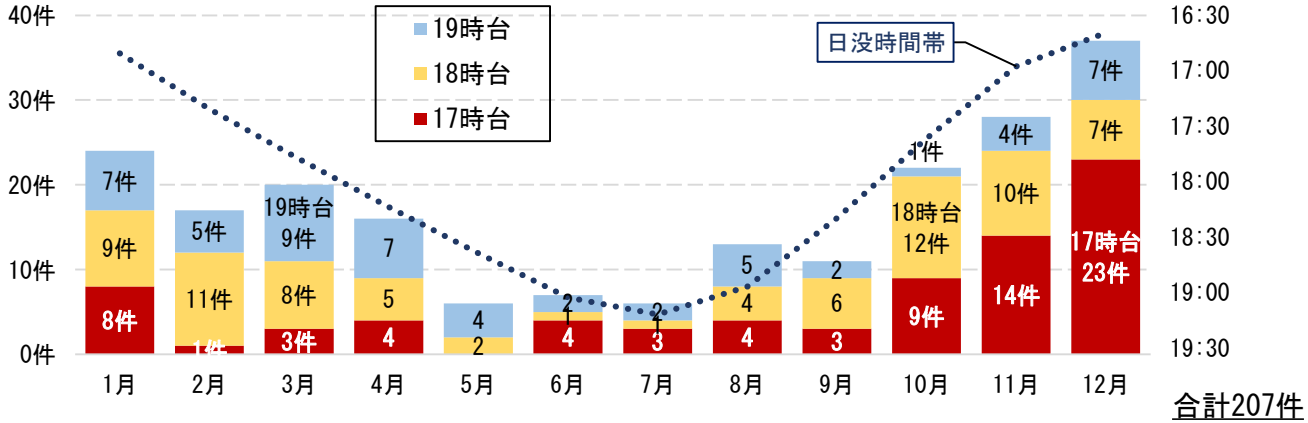
人対車両事故（死亡・重傷）
～ 10月～12月・17～19時台 ～

人対車両事故の発生時間帯は17時台・18時台が最も多く、次いで19時台の発生が多く、これらの時間帯は道路横断中の事故が大半を占め、横断歩道横断中の事故も多く発生しています。



17時台から19時台の事故を見ると、秋から冬にかけては、日没時間の早まりと比例して夕暮れ時から夜間の事故が多発する傾向があり、特に11月・12月は17時台に多く発生している。

≪ 17時台から19時台における車両対歩行者の死亡・重傷事故件数 ≫



薄暮時間帯の交通事故の特徴等

◆　10月から12月は、薄暮時間帯（日の入り時間の前後１時間）における人対車両の死亡・重傷事故が多発傾向にあり、７月から９月と比較して約3.1倍の発生
　特に、『日の入り後１時間』は、７月から９月と比較して約3.5倍の発生

◆　薄暮時間帯における人対車両の死亡・重傷事故のうち、自動車は「横断歩行者妨害」や「漫然運転」による事故が多く、歩行者側の半数超に何らかの事故原因が見られる

◆　運転者は退社時の事故が多く、歩行者は散歩や買物時の事故が多い

◆　日没時間の早まりと比例して、10月以降は夕暮れ時から夜間の事故が多発する傾向にあり、特に11月・12月は17時台に発生が多い

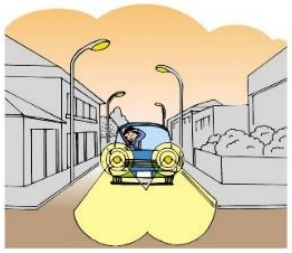
≪　運転者の皆さんへ　≫

●早めのライト点灯

　日没30分前を目安に、早めにライトを点灯させましょう。

●ハイビームの活用

　夜間、先行車や対向車がいない場合はハイビームを活用し、歩行者や自転車を早めに発見できるようにしましょう。



≪　歩行者の皆さんへ　≫

●『明るい服装』と『反射材』着用の徹底

　夕暮れ時や夜間外出する際は、明るい服装で、必ず反射材を身に着けましょう。

●『止まる』『見る』『待つ』『確かめる』の徹底

　道路を横断するときは一度立ち止まり、左右の安全を確実に確認しましょう。